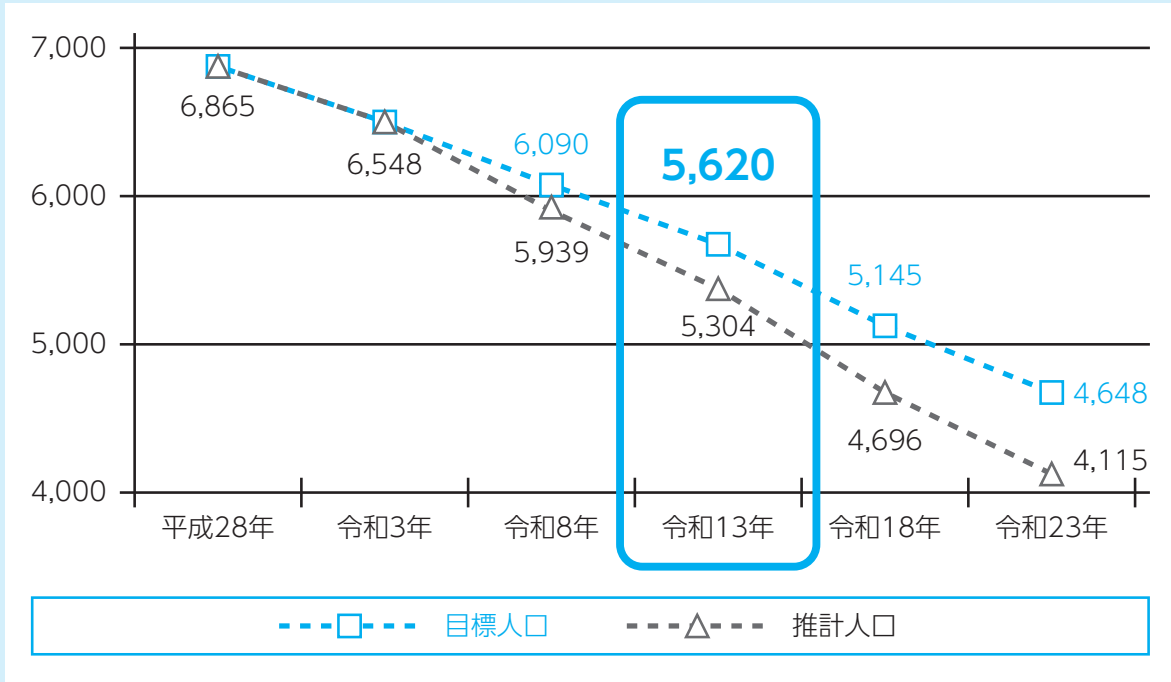


10年後の目標人口

平成27年度を初年度とし、人口減少の抑制、地方創生を目的とした第1期新十津川町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「子育て支援と教育を核とした子どもの笑顔があふれるまち」を目指すべき姿として、その実現に向けて取り組みを実施し、令和2年には人口増加に転じるなどその成果が表れました。

今後も、これまで歩んできたまちづくりを止めることなく進め、人口減少の抑制に努めることで10年後の目標人口を5,620人に設定しました。



※目標人口は、子育て支援や定住助成の効果が表れた平成27年から令和2年の移動率を算出し、この移動率を維持する仮定で算出しました。

推計人口は、平成21年から平成26年の移動率を算出し推計したものです。

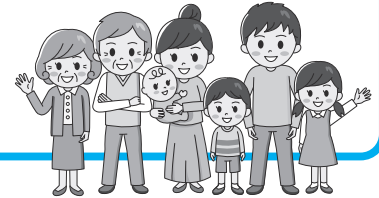
子育て支援や定住助成などの実施により、10年間で300人程度の人口減少の抑制を目指します。

第2期新十津川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少の抑制、地方創生を図るため第2期新十津川町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

この総合戦略は、まちの最上位計画である第6次総合計画と一体的に取り組むこととし、総合行政審議会での審議を経て、目指すべき姿を第1期と同様の「**子育て支援と教育を核とした子どもの笑顔があふれるまち**」としました。

新たな総合計画、総合戦略に基づき、町民の皆さんとともに着実にまちづくりを進め、笑顔に満ちた持続可能な新十津川町を実現します。



第6次総合計画の概要版を全戸に配布しますので、ご覧ください。
なお、総合計画、総合戦略の本編は、町のホームページから確認できます。



新十津川町 第6次総合計画がスタートしました

今後10年間のまちづくりの方向性を示す「新十津川町第6次総合計画」がスタートしました。計画の策定に当たっては、町民アンケート、中学生議会、総合行政審議会、意見箱の設置、行政区長・町議会議員の皆さんとの意見交換会などで多くのご意見をいただきました。町民の皆さんと行政が協働で策定したこの計画に基づき、目指すまちの将来像の実現に取り組みます。



総合行政審議会の審議の様子



目指すまちの将来像

新 たな未来へ

新たな情報技術などを活用し、変わりゆく未来に向かい、より快適で便利な暮らしができる取り組みを進めます。

と もに歩もう

1人の100歩より100人の1歩。町民と行政が力を合わせてまちづくりを進めます。

つ ながる絆

町民同士の絆、母村との絆などさまざまな人とのつながりを大切にし、助け合うまちづくりを進めます。

か わらぬ自然と
笑顔のまち

本町の素晴らしい自然と町民の笑顔をこれからも守り続ける取り組みを進めます。

まちづくりの目標

① 住みやすい暮らしがある

② 笑顔がつづく健康がある

③ 活気あふれる産業がある

④ 心やすらぐ備えがある

⑤ 未来を叶える学びがある

⑥ 助け合う絆がある